

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせた作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面1枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは5MB以下としてください。

※事務局記入欄

【様式2】

No. 50

**エントリー学校名：** 山口県周南市立岐山小学校

**活動名：** 自分から変化をつくる  
ベクトルを揃えて組織力向上！

**解決すべき課題：**  
学校の課題に対応する具体的な改善案が管理職や分掌担当を中心に提示されるが、どことなく受け身で提案する側とされる側の温度差を感じる。月別反省には多くの改善案が出され、全教職員「もっとよくしたい」と考えているのだが、仕事の多忙化や例年通りに行う安心感からか、「自分から変化をつくる」雰囲気には乏しい。

**目標・方針：**  
**教職員の意識のベクトルを揃えて、組織力向上に取り組む。**

- ・「スクールスタンダード作り」「業務改善」という全教職員が関わる内容をターゲットに設定する。
- ・全教職員の意見を集約→少人数の部会で具体案を検討・決定→全体で共通理解・実践といった過程で取組の実現化を進めることで、全員が取組に参画しているという当事者意識をもてるようにする。
- ・1か月など短いスパンでのPDCAサイクルの活用や具体案を試行する期間を設け、検討から実践までのスピードアップをすることで、意欲向上や意識の持続化を図る。

**活動内容：**  
 ◎岐山小スタンダード（スクールスタンダード作成・実施）  
 1 作成に当たって、今の児童の課題や作成する意義・価値を共有してから作成に入る。（目的の共有）  
 <写真1> <図1>  
 2 作成後、特に気になる「廊下・階段歩行」を重点目標に設定し、指導に当たる。（共同実践）  
 3 児童へのアンケート結果をもとに状況を学習部会で話し合い、翌月の指導内容を定める。（PDCAサイクルの活用）<図2・3>

◎岐山小スリム化大作戦！（業務改善）  
 1 隣学年ブロックからスリム化実行委員を決め、全教職員から出された案をもとに委員会で話し合う。  
 2 実践可能、検討必要などに分類し、分掌担当を中心に実践できるものから提案する。<図4>  
 3 提案されたものは、次年度の本格実施に向け3学期に「お試し」で実践し改善を加える。

**活動の成果：**  
 ・スタンダードでは、児童にアンケートを実施したことで児童自身の当事者意識も向上した。  
 ・スリム化では、委員会の提案を受けることで分掌担当が改善案を提示しやすくなった。  
 ・前年度2つの内容で取り組んだことで、今年度のコロナ対応では、各分掌・部会からの積極的な提案があった。また、個人や学年の良い取り組みが広がりやすくなった。<写真2>

**アピールポイント（アイデアや工夫）：**  
 ・全教職員が関わる内容をターゲットに設定し、当事者意識を向上させること  
 ・少人数の部会や委員会の活用で、短時間で全員参加の内容の濃い話し合いの実現につなげること  
 ・短い期間での検討→実践を連続させることで、乱れそうになるベクトルの方向を揃え続けること

<写真1> スタンダード作成



<図1> 作成に当たって価値の共有

8月22日 校内研修「岐山小スタンダード作り 話し合いでの共通理解」

**岐山小スタンダードを作る意味は？**

<子どものため>  
 ・ルールの徹底ができる  
 ・子どもたちが迷わずに生活できる  
 ・子どもたちの安心・安全につながる  
 ・トラブル無く過ごせる  
 ・力が定着する  
 ・同じルールで過ごすので、よりよい人間関係を作ることが出来る  
 ・ルール自体に気を取られず、大事なことをしっかり考えられる

<教員のため>  
 ・新しく来た先生も迷わず生活できる  
 ・他の先生に確認する手間が省ける  
 ・人が変わっても、ルールの継承が出来る  
 ・学級開きがスムーズになる

<図2> 児童アンケート

9月 岐山小スタンダードのふりかえり

9月の自分のろう下・かいだん歩行について、ふりかえろう。

◎・いつもできた ○・ほとんどできた △・あまりできなかった ×・ぜんぜんできなかった

※一番悪いものに○をつけましょう。

① 右側を歩く（広がる場合は、2列）	◎ ○ △ ×
② 無音（出るとき・しょうこう口まで入るとき・しょうこう口から）	◎ ○ △ ×
③ 用事が無いのに出ない、遅ばない	◎ ○ △ ×
④ 静まらず、ほかの字歩行を来しない	◎ ○ △ ×
⑤ 先生、お答さんに言ったらえしゃく	◎ ○ △ ×
⑥ しゅぎょうが始まる2分前には、静まる	◎ ○ △ ×

※これから気を付けたいことや続けたいことを書きましょう。（かならず）

<図3> 学習部会話し合いまとめ

10月9日 学習部会話し合いより

<9月のスタンダード取組について>  
 ・子どもたちの評価はややよい（苦戦が強い点はまだまだ）  
 ・血潮が上がっているが、身につけているまでは至っていない  
 ・無音・・・できていない  
 ・さきりからはみ出る児童、はみ出そうとする児童がいるので厳しさが必要  
 ・会釈は良くなってきた。その分、教がでて誤解が気になる。来年度の取組に誤解も一緒に入ると良い。  
 ・今後も取り組むこと、教師が高い厳格することが大事（根向けしない）  
 ・教師の「いいね」といった励ましが有効だった。  
 ・アンケートは、児童自身が認識できるきっかけとなった。

<10月の取組について>  
 ・児童の意識が山崩れしていることを生かし、全校としては10月も引き続き同じ内容に取り組む。（学年で異なるスタンダードは、学年で取り組む。）  
 ・教員から言われて一応自分自身、の意識を高めていく。そのためには、教師の熱が重要となるので、どのような働きかけをするかを考える。  
 ・9月のアンケート結果は教師自身が保管しておき、10月の振り返りの時に児童と比較できるようにする。  
 ・アンケートは、職員には見せさせない。（最終的には、差光が回収）

<児童の意識が見える言葉（アンケートより）>

1年	・ちゃんと ・すぐ ・がんばる
2年	・ちゃんと ・全部◎ ・いつもできるようにになりたい ・ぜったいに ・もっと ・必ず ・ずっと
3年	・できなかったものは、直す ・ちゃんと ・属したい ・全部◎にしたい ・もうちょっとがんばる
4年	・いつもできるように ・ちゃんと どんどんあがっていきたい ・全て◎になるようにがんばりたい ・きちんとして ・もっと ・守りたい
5年	・◎を全部にできるように ・必ずしたい ・言われなくても自分から ・もっと ・ちゃんと ・よく頑張っているのだから続けたい ・誇りを認める ・全て◎にしたい
6年	・振り返りでオール◎を目指す ・絶対に～する ・いつも頑張る ・当たり前の ・誇りにつなげたい ・もっと

<図4> スリム化委員会話し合いまとめ

令和元年度 プロジェクトチーム3 回例会結果報告

1月7日の会で検討した内容を報告します。プロジェクトチームで付けられた4つのものを検討しました。

（検討項目）

- ◎ 臨時の会議が多いので、会議のメンバーは少なめに、コンパクトな会議で重複してしまわないように減らす。  
・そのかわり、報告や協議の大切。
- ◎ 企画委員、審議委員としてお茶、必要な場合は、変更しない。  
・少数で決断できるように考えている。学習部会（学習部会、生徒指導部会、体育部会）に分かれ、詳細な話し合い、重要事項は職員会にかけ、議決後は学年等に伝達できるようにする。
- ◎ 行事の見直し  
・運動会が5月末なら、スポーツテストは4月中～下旬？6月頭～中旬？になるか。水泳は6月3週目あたりから7月ラストで指導時間10時間をあてにするか。  
・チーム全員一致で決定。運動会は5月22日、スポーツテストは4月22日、28日あたりか。6月2日にゴール調整をし、その1週間後くらいから水泳指導開始。
- ◎ 6月の全校朝会と併せて、見守り隊との対面式を行う。理由は、7月の集団下校時では、時間が遅いと思うし、以前のように5月・6月に避難訓練がないので…  
・チーム全員一致で決定。6月の全校朝会に見守り隊の方々と併せて、見守り隊の対面式を行う。
- ◎ 6月の全校朝会と併せて、見守り隊との対面式を行う。理由は、7月の集団下校時では、時間が遅いと思うし、以前のように5月・6月に避難訓練がないので…
- △ 6月の全校朝会と併せて、見守り隊との対面式を行う。理由は、7月の集団下校時では、時間が遅いと思うし、以前のように5月・6月に避難訓練がないので…
- △ 6月の全校朝会と併せて、見守り隊との対面式を行う。理由は、7月の集団下校時では、時間が遅いと思うし、以前のように5月・6月に避難訓練がないので…

※年度で学習部会委員会は影が薄くなるので、何とも言えないのでは？  
 学習部会が多い。  
 行事のある月は参観日をなくす。  
 一層することが可能か、何かの行事と組み合わせで2回1回にすることを考えてほしい。今年度参観日は7回あったが、残りの可能なのは9月か2月か、職員会等で検討が必要あり。

<写真2> 間隔を保つ足跡マーク  
ある学年が始めたところ、全校に広がって

